

宇都宮市立桜小学校 第5学年 児童質問調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

【学習に関する項目について】 ○「家で、学校の宿題をしている。」が93.9%で、決められた学習をきちんと取り組む姿勢が身に付いていることが分かる。また、「家で、学校やじゅくの決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている。」の肯定的回答は66.7%と県の平均の59.1%を上回っている。自分から興味関心のある学習に進んで取り組もうとする意欲が高まっていることも分かる。 ○ノートの書き方を工夫したり、自分の考えを書き表したり、学習したことをふだんの生活で生かそうと考えたりする割合が高く、学習意欲が高いことが分かる。引き続き、学習意欲が継続できるよう学習カードの活用やノートの紹介などを行い、さらに意欲が継続していけるようにしていく。 ●「家で、テストでまちがえた問題について勉強をしている。」の回答は57.5%で県の64.9%を下回っている。また、「家で、学校の授業の復習をしている。」は県の平均は上回ったものの、69.7%と低い数値である。復習することの大切さを伝えながら学習方法を提示し、学習内容の定着を図っていく。
【自分自身のことに関する項目について】 ○「自分には、よいところがあると思う。」が94%と、県の平均の82.1%を大きく上回っていることから自己肯定感の高さが伺える。また、「自分がもっている能力を十分に発きたい。」が96.9%、「しょう来のゆめや目標をもっている。」が97%と、将来に向けての夢や希望をもって充実した生活を送っていることも分かる。 ○「家の人と、しょう来のことについて話すことがある。」が81.8%、「自分は家族の大切な一員だと思う。」は100%、「家でのきまりや約束を守っている。」が97%と県の肯定割合を上回り高い割合である。家族に支えられ、安心して家庭生活を送ることができていることが分かる。引き続き家庭と連携し、よりよい生活が送れるよう支援していきたい。 ●「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている。」は75.7%で、県の平均の82.6%を下回っている。社会の話題を授業等で意図的に取り入れ、世の中の出来事に関心をもつ力を高めていきたい。

宇都宮市立桜小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣	自分で計画を立て、家庭学習に取り組む ・「家庭学習のすすめ」の活用 ・「家庭学習のヒント」の活用	「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の肯定割合が4年生71.4%、5年生78.8%。4年生が市の肯定割合より低く、5年生は高い結果であった。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「授業で自分の考えを文章にまとめて書くことはむずかしい」の割合が4年生65.3%、5年生63.6%。どちらの学年も市の割合より高く難しいと感じている。	自分の考えをまとめ、書く力を育成する取組	国語科を中心として、全教科で書く力を育成 ・言語活動の充実 ・書く機会の充実